

The style
icon
no.

02

“カジュアル&スポーティを取り入れた 元気に見えるおしゃれ”がテーマ

年齢を重ねるごとに、カジュアルな着こなしが
しつくりくるようになったという江面さん。

自身のブランドバッグも着こなしにリズムを生む重要な存在です。



ベーシックなニットは 素材にこだわります

「シンプルなデザインは、素材のよし悪しが出てしまうので、ニットは『ジョン スメドレー』を頼りにしています。『コム デ ギャルソン』のストールは、コットンならではの、この立体感が気に入る。パンツは「モン サカタ」。



バッグデザイン製作
エフエフエフエフ
江面 旨美さん

旧通産省中堅技術者研修会でカバン作りを学び、1985年、展示販売をスタートする。「革のバッグ Lesson.12」(文化出版局)など著書多数。5月26日〜30日、ギャラリー「MORIS」にて江面旨美BAG展を開催予定。
<http://umambags.net>

着こなしのポイントになる

「lumamibags」は

スタイルカバー効果も

江面さんがデザイン&製作するバッグは、サイズも形もさまざまですが、小柄な人でもバランスよく持てたり、ウエストまわりをカバーしてくれる工夫が施されています。

似合うものを追求
したらカジジュアルに

「ギャラリー fu do ki」のオーナー浅野千里さん（P46）も江面旨美さんが作るバッグのファンのひとり。おしゃれな大人たちに支持されている江面さんですが、アトリエにこもって製作しているため、たまに人と会うときはジャケットを羽織れば間違いない、と思っていた時代があったそう。

「コム デ ギャルソン」ならおしゃれに見えるし、背中のお肉も気にならない(笑)。でもあるとき、個展に来てくださるお客さまや、ギャラリーのオーナーの方々に触発されたのか、もっとおしゃれを楽しまなくちゃ!

「思ったんです」

「とりあえずジャケット」をやめて、ニットやシャツを自分らしくコーディネートするコツを研究。似合うもの、好きなものを再確認してみると、年々カジジュアルな着こなしが好きになっていくことに気づきます。

「私の場合、エレガントにする
と老けるので、シャツはOK
だけどブラウスはNG。スポーティな
アイテムは、気持ち元気に
なるところもいいですよね」

「ブローチは難易度が高く、購入
入できずにいるのだとか。

「いつか、ネイビーのスーツに『ジョージ ジェンセン』のグリーンアゲートのブローチをつけたいと思っているので、おしゃれ力を磨かなくちゃ」

帆布の白いバッグは、持ち手を短くすることで、小柄な人でもバランスよく持てる作り。手前の斜めがけバッグは、ショルダーストラップを太くして肩に食い込みにくくするだけでなく、ウエスト部分が隠れることで、気になる体形をカバーできる嬉しい作り。



ジャケットの下は
モッズコート

もともとのデザインのような
重ね着が印象的

「コム デ ギャルソン」のショップスタッフに教えてもらったという重ね着テクニックを、ロールアップしたデニムでバランスよく着こなしている江面さん。「おしゃれなショップスタッフも頼れる存在です」



カジュアルな中にも きちんと感を出したいときは、 シャツをチョイス

衿の形、肌ざわり、サイズ感……。シャツに求めるチェックポイントをすべてクリアしているのは、「アーツ & サイエンス」や「コム デ ギャルソン」。



ボタンを外し、
ベルトを見せて脚長に

「トップスは黒が濃紺、ボトムはベージュという色合わせがいちばん好きです」。シャツは「ポールハーデン」、パンツは「ジャーナルスタンダード」で購入。



「洋服がシンプルなので、アクセサリは必需品。価格的に集めやすく、重ねづけをしてもいやらしくないのがシルバーのいいところ」

紫外線対策として
小さくたためる帽子も携帯



日焼けしたくないので、夏でも長袖を愛用。「丸めると手のひらに収まる帽子は、トップの髪の毛がつぶれないところが秀逸。そろそろ新調したいのですが、同じものが見つからなくて」



ボタンの開け閉めは
バランスを見て決めます

昔の手織りのような風合いの「アーツ & サイエンス」のシャツに合わせたのは、「コム デ ギャルソン」のサルエルパンツ。モードなパンツは、シャツのボタンを上まで留めたほうが好バランス。



プチプラが嬉しい

「ザラ」だから迷わず購入

「トレンドアイテムには興味がないのですが、この値段で、アクティブに見えるなら！と即決。全身スポーティなので、レザーのバッグで引き締めます。『アーメン』のスニーカーは、あまり人とかぶらないところもいいんです」

トレンドは追わないけれど、ライン入りのパンツとスニーカーは元気になるからトライ！

衝動買いしたトレンドアイテム「ライン入りのパンツ」がきつかけで、スポーティなアイテムの魅力を再認識。白のスニーカーは、おしゃれなセレクトショップオーナーにすすめられて。

無地感覚ではける色使いながら、軽快な印象に

「2本目のライン入りパンツは、たまたま『ビショップ』で見つけて」。サイドに入ったグリーンのラインが、目立ち過ぎないところが大人向き。シャツは「コム デギャルソン」。



スニーカーはコインランドリーでお手入れ



「汚れが気になる白のスニーカーは、スニーカー専用のコインランドリーを活用しています。コットンの風合いが出てきて、意外といいのよ」



ボリュームスカートは上半身をコンパクトに

「アーツ & サイエンス」のカーディガンは、ちょうどいいVの開き加減と、スカートに合わせやすい文感が購入の決め手。スカートは「コム デギャルソン」。